

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料

技術・家庭（家庭分野）

宮崎県教育委員会

1 教科目標の達成及び教材の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 家庭科の目標を達成するために、「自ら生活をつくる」「生活者としての意思決定する」「ともに生きる」の3つの内容で構成し、系統性を意識しながら、学習のめあてに到達させるような構成の工夫が見られる。</p> <p>また、巻頭に「家庭分野のガイダンス」を設け、見通しをもった学習が行えるように工夫するとともに、各単元を「導入」「基本ページ」「学習のまとめ」で構成するなど、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し想像する力を育むことのできる構成・配列の工夫が見られる。</p>
6 教 図	<p>(1) 家庭学習の目標を達成するために、「家族と生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」3つの内容で構成し、基礎・基本から応用・発展のながれを意識しながら、学習のめあてに到達させるような構成の工夫が見られる。</p> <p>また、章の初めに、これまでの生活を振り返るページを設け、自立の確認が行えるように工夫するとともに、各単元を「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」で構成するなど、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し想像する力を育むことのできる構成・配列の工夫が見られる。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 家庭学習の目標を達成するために、「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」「生活の課題と実践」の4つの内容で構成し、興味・関心を大切にしながら学習のめあてに到達させるような構成の工夫が見られる。</p> <p>また、章の初めに、「わたしの興味・関心」というページを設け、生活の中から問題を見出せるよう工夫するとともに、各単元を「本文」「ふり返り」「生活にいかそう」「学習のまとめ」で構成するなど、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し想像する力を育むことのできる構成・配列の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、「活動」例を充実させ、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするなど、深い学びにつながる工夫が見られる。 また、物事を考えたり、意見を整理したりする際に活用できる多様な思考ルーツを示すなど、対話を助けて、協働を促すことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、生活の自立に必要な基礎的な技能をまとめた「いつも確かめよう」のページを設けたり、習得した知識を家庭や地域の様々な場面に生かせるような「生活に生かそう」を設けたりするなど、生活を営む力を育むことができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、生徒自身が思考できるような「考えてみよう」を設けたり、豊富な「実習例」を数多く示したりするなどの工夫が見られる。 また、見方・考え方を働かせることのできる場面にキャラクターの「ミカタン」を登場させ、関連する台詞で生徒の思考や意識を高めるような工夫が見られる。</p>
6 教 図	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、絵や資料をもとに思考を深めることができる「考えてみよう」があり、対話的で実践的な学習ができるような工夫が見られる。 また、グループでの話し合いやロールプレイで対話することができる「話し合ってみよう」が設定してあり、実践的・体験的な活動を通して学習することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、視覚的な資料や原寸大の写真を豊富に掲載したり、関連するコンテンツを参照して基礎的・基本的な知識が身に付くように、QRコードを掲載したりするなど、生活を営む力を育むことができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、巻頭に問題解決的な学習が展開できるよう、「課題解決学習の流れ」を示したり、巻末の「生活の課題と実践」に課題設定のヒントを掲載したりするなどの工夫が見られる。 また、題材等のまとめに「学びを生かそう」を設け、課題解決学習を繰り返し行うことで、習得した知識や技能を活用して、よりよい生活を創造する力を育成できるような工夫が見られる。</p>

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、各章の学習過程を「学習への関心を高める」「学習課題に取り組む」「生活に生かす」の内容で統一し、主体的な学びができる工夫が見られる。</p> <p>また、様々な場面において、写真や資料をもとに、話し合いが展開できるような「話し合ってみよう」を設け、実践的・体験的な活動を通して学習することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、子どもの関心や実生活を学びにつなげることを意図して、視覚的な理解につながるように大きな写真や図解で解説したり、小単元のまとめに「生活に生かそう」を設け、習得した知識を家庭や地域の様々な場面に生かしたりできるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、単元を通して考えることにつながるように小単元の初めの発問コーナーや「生活の課題と実践の進め方」「まとめ方」のページがあるなどの工夫が見られる。</p> <p>また、小題材の中で「やってみよう」「発表しよう」のコーナーが設定してあり、個々の学びを生かして、表現につなげることができるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、実物大写真や図表を豊富に掲載しているほか、各単元や題材内にあるデジタルコンテンツを視聴して、科学的根拠や実感を伴った知識が身に付くよう工夫されている。</p> <p>また、生徒にとっての分かりやすさについては、「環境」「防災」「消費者」「情報モラル」等のマークを設定し、今日的課題について意識して学習できるような工夫が見られる。</p>
6 教 図	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、図解やイラストを充実させ、生活経験の不足を補えるように配慮されているほか、QRコードが小題材内に掲載してあり、動画等を視聴して学習を進めることができるよう工夫されている。</p> <p>また、生徒にとっての分かりやすさについては、「環境」「防災」「消費者」等のマークを設定し、今日的課題について意識して学習できるような工夫が見られる。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、各章の扉となる「わたしの興味・関心」では、見開きを使って実物大写真を掲載し、視覚からも学習の動機付けが図られるような工夫が見られるほか、QRコード等を活用し、学習を進められるよう工夫されている。</p> <p>また、生徒にとっての分かりやすさについては、「豆知識」「他分野他教科」等のマークを設定し、様々な課題について意識して学習できるような工夫が見られる。</p>